

学校改善を目指す学校評価

札幌市立三角山小学校

I はじめに

学校改善に結びつく学校評価

1 本校における学校評価のねらい

本校においては、学校評価を通じて、学校や家庭、地域の役割を認識し、相互の連携と協力を得て、信頼される開かれた学校作りを目指すことや学校運営について目標を設定し、達成状況等を評価しながら学校として組織的・継続的な改善をしていくこと、学校のみならず多様な意見を取り入れながら一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ることをねらいとして創造的な教育活動の推進を行っている。

2 昨年度の学校評価をもとにした改善点

昨年度の学校評価を基に、学校と家庭と細やかな連絡、安全・危機管理体制の整備、新学習指導要領に向けての準備（日課表改善、周知のための学習会、適正な時数配置等）、保護者や地域に開かれた学校づくり（児童活動の一般公開、学校説明会の工夫）、教育環境の整備（コンピュータ、図書室等）を行ってきた。

II 本校の学校評価システム

学校評価システム

1 自己評価と評価委員会

本校では、校長の学校経営方針を受けて、教育課程を適切に推進する組織として「教育課程推進プロジェクト」が校務分掌上に位置づけられており、教頭、教務主任、総務、各部会の部長というメンバーで構成されている。ここで本校の学校運営を円滑に進めるため、学校評価を取り入れ、PDCAのサイクルで見通しをたてながら教育活動の推進に当たっている。

自己評価は、年に2回、児童アンケートや中間・年度末の職員への評価の他、年1回保護者アンケートを行っている。中間評価は、前期末に行うという時期を考慮して評価項目を精査し、効率的な実施スケジュールで行い、後期すぐに日常の教育活動の改善に役立てることをねらいとして取り組んでいる。また年度末に行った職員への学校評価では、児童アンケートの他、保護者アンケートも検討の資料として加味し、各部会・特別委員会ごとに評価結果を検討し、教育課程推進プロジェクトで学校としての改善点を調整し、来年度の取組や方向性をまとめている。

2 学校関係者評価委員会

昨年度より、より広い視野から学校改善の取組を行うため、保護者アンケートの実施や、直接保護者から意見を伺えるように学校説明会の工夫を行ってきた。本年度は、より一層保護者や地域に開かれた学校づくりに向けて、外部の意見を取り入れた学校関係者評価を行うことにした。今年度は、年度末に学校関係者評価委員会を開催し、多くの貴重な意見を伺うことができた。

自己評価に外部の意見を取り入れる

Ⅲ 学校評価の年間の流れ

| 期 | 月 | 自己評価 | | | 学校関係者評価 |
|----|--|---|---|--|--|
| | | 学校 | 児童 | 保護者・地域 | 学校関係者評価委員 |
| 前期 | 4 | <input type="checkbox"/> 新年度の学校経営方針 <input type="checkbox"/> 学年・学級経営案 <input type="checkbox"/> 分掌運営計画 | <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査 <input type="checkbox"/> 知能・学力検査 | <input type="checkbox"/> 学習参観・懇談会 | <input type="checkbox"/> 入学式参観 |
| | 5 | <input type="checkbox"/> 教育課程推進プロジェクト (学校評価の目的や体制の検討) | <input type="checkbox"/> 運動会に向けて | <input type="checkbox"/> 学校説明会 <input type="checkbox"/> 1年生を迎える会 <input type="checkbox"/> 学習参観・懇談会 <input type="checkbox"/> 運動会 | <input type="checkbox"/> 1年生を迎える会参観 <input type="checkbox"/> 運動会参観 <input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会 |
| | 6 | <input type="checkbox"/> 重点目標の検討 <input type="checkbox"/> 事前授業検討会 | <input type="checkbox"/> 三角山登山に向けて <input type="checkbox"/> 修学旅行に向けて | <input type="checkbox"/> クラブ活動開始 (~11月) <input type="checkbox"/> 町内会運動会 | |
| | 7 | <input type="checkbox"/> 教育課程推進プロジェクト (評価計画・評価項目検討) | <input type="checkbox"/> 1学期の振り返り | <input type="checkbox"/> 校外分団集団下校 <input type="checkbox"/> 個人懇談 <input type="checkbox"/> PTA行事 <input type="checkbox"/> 学校評議員会 | <input type="checkbox"/> 校外分団集団下校参加 <input type="checkbox"/> スクールゾーン実行委員会参加 |
| | 8 | <input type="checkbox"/> 教育課程推進プロジェクト (学校評価計画案検討・中間評価実施案・児童生活アンケート検討) <input type="checkbox"/> 職員会議 (学校評価計画案と中間評価・児童生活アンケートの提案) | | | |
| | 9 | <input type="checkbox"/> 第9回実践研究発表会 <input type="checkbox"/> 中間評価用紙配布 | <input type="checkbox"/> 宿泊学習に向けて <input type="checkbox"/> 児童アンケート | <input type="checkbox"/> 実践研究発表会参観 <input type="checkbox"/> 懇談会 <input type="checkbox"/> 前期通知表 | <input type="checkbox"/> 実践研究発表会参観 |
| 後期 | 10 | <input type="checkbox"/> 教育課程推進プロジェクト (中間評価のまとめ検討) <input type="checkbox"/> 中間評価全体会 <input type="checkbox"/> 教育課程推進プロジェクト (保護者アンケート・後期評価計画の日程検討) <input type="checkbox"/> 職員会議 (保護者アンケート・後期評価計画の日程提案) | | <input type="checkbox"/> 土曜学習参観・地域公開 <input type="checkbox"/> 学習参観・懇談会 | <input type="checkbox"/> 土曜学習参観・地域公開の参観 |
| | 11 | | <input type="checkbox"/> 学習発表会に向けて | <input type="checkbox"/> 学習参観・懇談会 <input type="checkbox"/> 学習発表会 | <input type="checkbox"/> 学習発表会参観 |
| | 12 | <input type="checkbox"/> 学校評価個人評価 | <input type="checkbox"/> 2学期の振り返り | <input type="checkbox"/> 保護者アンケート <input type="checkbox"/> 三角山発表会 <input type="checkbox"/> 個人懇談 | <input type="checkbox"/> 三角山発表会参観 |
| | 1 | <input type="checkbox"/> 各校務分掌評価 <input type="checkbox"/> 教育課程推進プロジェクト (学校評価全体会に向けて) | | | |
| | 2 | <input type="checkbox"/> 教育課程推進プロジェクト (学校評価全体会に向けて) <input type="checkbox"/> 学校評価全体会①② <input type="checkbox"/> 教育課程推進プロジェクト (学校評価全体会のまとめ検討) <input type="checkbox"/> 職員会議 (学校評価全体会のまとめ提案) | <input type="checkbox"/> 児童アンケート <input type="checkbox"/> 卒業・進級に向けて | <input type="checkbox"/> 学習参観・懇談会 | |
| 3 | <input type="checkbox"/> 自己評価書、学校関係者評価書作成 <input type="checkbox"/> HP・学校だより等で公表 | | <input type="checkbox"/> 学習参観・懇談会 <input type="checkbox"/> 6年生を送る会 <input type="checkbox"/> 卒業式 | <input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会 <input type="checkbox"/> 6年生を送る会参観 <input type="checkbox"/> 卒業式参観 | |

IV 学校評価の方法

評価項目の精選化を図る

経年変化を見る

教育課程推進プロジェクトを中心とした自己評価書の作成

1 自己評価

(1) 項目の設定

評価項目については、網羅的ではなく学校経営の基本方針や課題に沿って、内容を精査した上で設定している。

今年度は、昨年度の評価結果を踏まえ、自立と共生というキーワードを元に、本年度の重点目標を、子どもの姿を具現化するという方向から「自ら学び、共に高めあう子どもの育成」とした。この目標に向け、学校評価ガイドラインを参考に、教育課程編成を検討する視点から8分野（教育課程、学習指導、生活指導、研究・研修、組織運営、保護者や地域との連携、安全管理、教育環境）38項目を年度末の学校評価で設定した。

また中間評価では、学校経営方針の重点課題や前期の取組や、児童の育ちや指導に焦点化して評価項目を精選し、早めに後期の学校教育活動に反映できるように4分野（学習指導、生活指導、研究・研修、安全管理）15項目まで絞り込んで設定している。

(2) 児童・保護者アンケートの実施

自己評価に客観性をもたせ、学校と家庭、教師と児童の信頼関係を構築する改善策の参考として、児童や保護者へのアンケートを実施している。それぞれの評価項目は、自己評価との関連性をもたせ、記述内容がいたずらに高度かつ専門的にならないように配慮するとともに、項目の数を精選して煩雑な印象を与えないようにしている。

また、長期的な視野で教育活動の改善策の効果を把握したり、変化の推移から傾向をつかみ、課題を絞り込んで次年度の教育活動へ生かしたりするため、同じ項目を数年間継続している。

(3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

職員による学校評価の評価項目の4段階に設定した数値の平均値や記述欄の内容に保護者・児童アンケートの結果を検討資料に加えて分析する。その上で教育課程推進プロジェクトにおいて、確認事項や検討の方向性を調整した後、各部会や特別委員会で協議を進め、学校評価全体会で討議し、自己評価書の作成を進めていく。

尚、自己評価書作成に当たっては、教育課程推進プロジェクトを中心に、学校評価全体会での検討結果を踏まえ、評価項目に沿って4段階（A＝成果が上がっている、B＝成果はあるが、部分的な修正が必要である・C＝成果は不十分であり、部分的に検討し改善していく・D＝成果が上がっていない）で達成状況を表記すると共に、HPやプリントなどでの外部への公表を視野に入れ、新年度の改善策を盛り込んでいく。

(4) 改善策の検討

職員による学校評価の際に記入した個人用紙に記入された数値や問題点、改善策等を参考にして、各部、特別委員会や学年で課題点を整理、分析し、改善策の方向性を探っていく。その後、教育課程推進プロジェクトで各部等からの結果を整理、補足したり、未検討の課題について検討をしたりして、改善の方向性をまとめ、学校評価全体会で、職員の共通理解を図っていくように進めていく。改善策を検討する際には、早急に取り組むことが可能ものと、長中期的な視野で段階を踏んで少しずつ積み上げていくものや、保護者や児童、または地域の方々という立場からの視点を考慮に入れて、次年度の教育課程編成に生かすようにしている。

2 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員の構成と役割

これまで本校の教育活動について意見を伺ってきている方や日常的に子どもの成長や教職員の取組に接している方を中心にすることを基本に、学校評議員や地域関係者、PTA関係者で構成した。

本校の当該委員の構成者には教職経験者や元連合町内会会長という方もおり、学校教育という専門的な立場や地域住民という学校とは異なった立場から、多面的多角的に子どもの育ち、教育活動の取組について評価していただいた。

これら評価委員には、学校関係者評価書作成にあたって、重点目標や自己評価の評価項目設定での意見徴収、自己評価の結果や今後の改善策の妥当性、実際に行われた改善の取組に対するアドバイスをを行うといった指導、助言の役割を担っていただいている。

(2) 学校関係評価書の作成

学校関係者評価書の作成にあたっては、自己評価の評価項目を基に、重点目標に沿った本校の学校運営の考え方、子どもの育ちや保護者や地域との関係に焦点化して5分野（重点目標、学習指導、生活指導、地域・保護者との連携、教育環境）19項目を設定している。評価方法については、事前に資料を配布し、委員会当日に記述や口頭による意見を集約し、まとめたものを所定の様式に沿って公表していくことにしている。

V 評価結果の公表



1 公表の方法

本校では、評価結果の公表を以下の通り行っている。

- ・口頭説明・・・学校説明会、懇談会、PTA運営委員会
- ・プリント・・・保護者アンケート資料
- ・学校ホームページ

2 公表の効果

保護者への公表を意識することで、一人一人の職員が責任をもって学校の教育活動を行うことができるとともに、保護者の意見に対して丁寧に回答することで、より一層学校と保護者の信頼関係を構築することができた。

VI 成果と課題

学校評価のPDCAサイクルを軸に教育課程を編成することで、漠然と日々の日常実践をこなすのではなく、保護者アンケートの結果を受けて、具体的な改善策を意識して教育活動を展開し、成果を上げることができた。例えば家庭とのきめ細かい情報のやりとりや学校の考えをわかりやすく説明することの必要性を再認識し、直ぐに実践に生かすことで、一層保護者との連携を図ることができたのである。

課題としては、検証の可能性、指導と目標との一体化、具体的な改善策との整合性を考慮に入れた評価項目の一層の精選である。また、評価の年間の流れや事務的処理の能率化も視野に入れておく必要がある。

【参 考 文 献】

- ・「学校評価ガイドライン〔改訂〕」 文部科学省
- ・「札幌市の学校評価」 札幌市教育委員会
- ・「学校評価システムの確立に向けて」 札幌市教育委員会
- ・「新・学校評価の理論と実践」 西村文男他 教育出版

(様式 2)

平成 20 年度 自己評価及び学校関係者評価書

平成 21 年 3 月 日
札幌市立三角山小学校

1、本年度の重点目標

自ら学び、共に高めあう子どもの育成

2、本年度の経営方針

- 1、学校教育目標の具現化に向けて、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指すとともに、一人一人の個性の伸長に努める。
- 2、全職員が各自の持ち味や個性、能力を最大限に発揮しながら、相互に認め合い、励まし合い、切磋琢磨し合い、共働による学校経営参画意識の高揚と組織体の確立に努める。
- 3、学校・家庭・地域の役割を認識し、相互の連携と協力による信頼関係の構築と学校の説明責任による働きかけをしながら、地域に開かれた学校の推進に努める。

3、自己評価結果に対する学校関係者評価

| 分野 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------------|--|------|-------|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 重点目標 | 重点目標の内容は、学校や児童の実態から見て適切である。 | | | | |
| | 学校の教育目標や方針など考え方についての教職員間の共通理解が図られている。 | | | | |
| | 年間のカリキュラムが効果的に編成されている。 | | | | |
| | 日課表が子どもの生活リズムを作り、日常的に充実した学習や生活に結びついている。 | | | | |
| | 特別支援教育の校内支援体制の充実が図られている。 | | | | |
| 学校関係者評価者による意見 | | | | | |
| 学習指導 | 児童の興味や関心、地域の実態を生かし、自主的、自発的な学習指導を進めることができている。 | | | | |
| | 他者のよさを取り入れながら、互いに認め合い、高め合う交流学習の充実を図っている。 | | | | |

参考資料 2

平成 20 年度

「三角山の教育」保護者アンケート

各項目について、A～Dのいずれか一つに○印をつけてください。回答が難しい場合は、空欄のまま
で結構です。

A. そう思う B. だいたいそう思う C. あまり思わない D. 全く思わない

お子さんの学年に○印をつけてください。(お子様がいる学年すべて○をつけて下さい。)

1 年 2 年 3 年 4 年 5 年 6 年

| | | 内 容 | | | | A | B | C | D |
|--|----|---|--|--|--|---|---|---|---|
| 学 校 教 育 全 体 子 ど も の 様 子 | 1 | 学校は、学校説明会・参観懇談・各種お便りなどで学校の教育方針や教育活動について分かりやすく伝えている。 | | | | | | | |
| | 2 | 学校が保護者に出す文書や案内、連絡などの内容は、分かりやすいものになっている。 | | | | | | | |
| | 3 | 学校は、保護者や地域の方々の声を聞きながら教育活動を行っている。 | | | | | | | |
| | 4 | 学校は、保護者や地域の方々が授業や行事を参観する機会を十分に設定している。 | | | | | | | |
| | 5 | 学校は、地域の自然や施設などを生かした特色ある教育活動を行っている。 | | | | | | | |
| | 6 | 通知表、懇談、お便りなどで学習や生活の様子が分かりやすく伝わっている。 | | | | | | | |
| | 7 | 子どもの様子で特に気が付いたことがあるときは、学校から家庭へ連絡がある。 | | | | | | | |
| | 8 | 子どもたちは、学校へ行くのを楽しみにしている。 | | | | | | | |
| | 9 | 学校の授業は、工夫が見られ、美しく分かりやすいものになっている。 | | | | | | | |
| | 10 | 運動会や学習発表会など学校行事では、子どもたちが生き生きと活動する姿が見られる。 | | | | | | | |
| 施 設 安 全 問 | 11 | 学校の周りはいつも整備されて、環境が整っている。 | | | | | | | |
| | 12 | 校内はいつも整理されており、子どもたちの学習環境や施設・設備も整っている。 | | | | | | | |
| | 13 | 緊急時や災害時の安全管理について、学校はしっかりと対策をとっている。 | | | | | | | |
| 保 護 者 と し て | 14 | 学校から配付される文書などには、よく目を通している。 | | | | | | | |
| | 15 | 参観・懇談や学校の行事などには、なるべく参加するようにしている。 | | | | | | | |
| | 16 | 子どもの様子で気の付いたことがあるときは、学校へ連絡(相談)している。 | | | | | | | |
| | 17 | PTAの活動に協力的に参加している。 | | | | | | | |

※上記の項目についてお気付きの点や、三角山小学校をよりよくするためのご意見、ご感想などがありましたら、お書きください。

※記入が終わりましたら、古封筒に入れ、お子さんを通して12月16日(火)までに長子のいる担任へご提出ください。

ご協力ありがとうございました。